



SUGINO GROUP

会社案内

Corporate Profile

会社概要

Company

社名	共立精機株式会社
創業	1950年11月10日
資本金	3億円
社員数	93名
事業内容	工作用機械機器および関連部品の製造、販売
所在地	本社・工場 〒321-0145 栃木県宇都宮市茂原1丁目2番19号 管理部 TEL.028-654-2394 / FAX.028-654-1926 営業部 宇都宮営業所 TEL.028-654-1221 / FAX.028-654-1220 名古屋営業所 〒451-0044 愛知県名古屋市西区菊井2丁目17番11号 TEL.052-571-5557 / FAX.052-571-5558
関連会社	株式会社スギノマシン

ご挨拶

1950年の創業以来、お客様のご要望にお応えする使命と蓄積された固有技術により、「削る」、「測る」、「磨く」、「混ぜる」のフィールドで高性能・高品質製品を提供してまいりました。これからも、商品の一つひとつに自社技術を注ぎ込み、お客様の期待を超える最良のソリューションを創造することで、企業価値を高め、人と社会の発展に貢献していきます。

代表取締役社長 柿島 章浩



共立精機の強み

人 Human

業務を円滑に進めるためのコミュニケーションや、生産体制を支えるのは、社員一人ひとりの情熱。それぞれが持つ専門性と責任感を結集することで、お客様に安心・安全で高品質な製品をお届けしています。共立精機には、そんな信頼できる人材が揃っています。



エンジニアリング

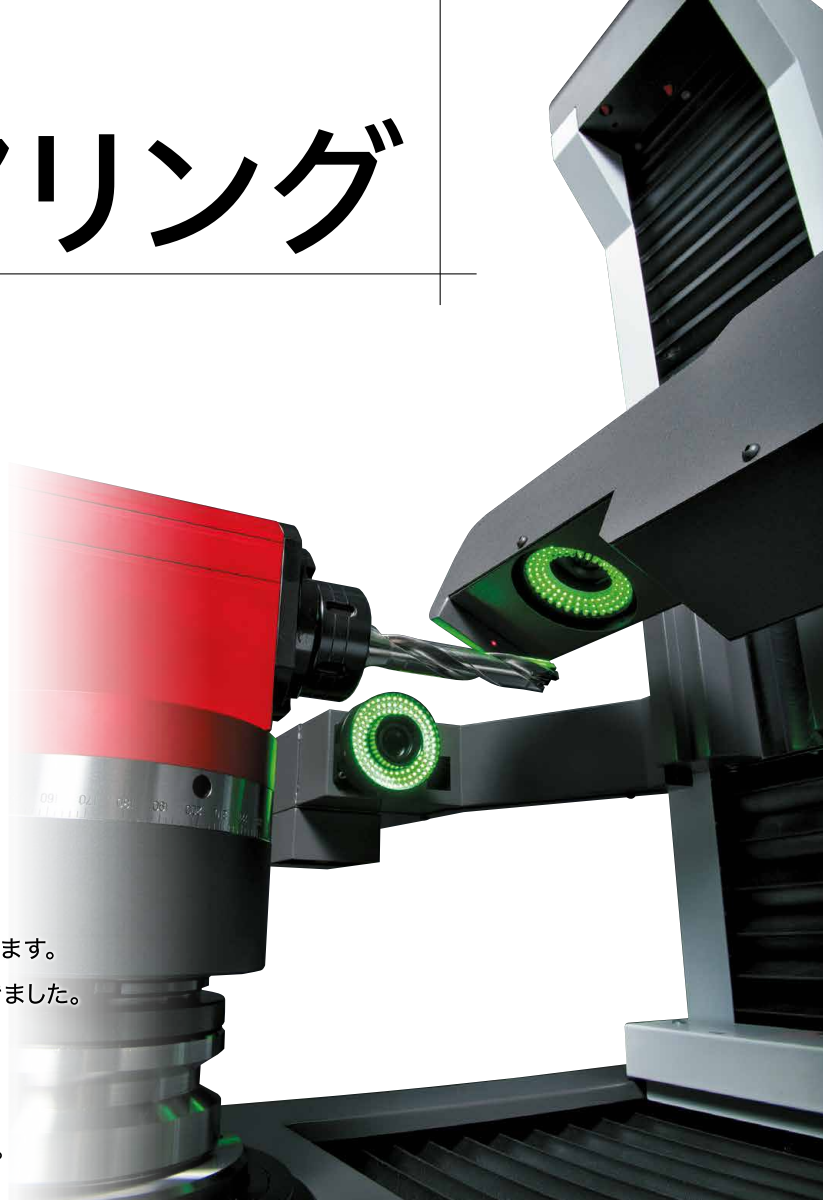
Engineering

長年培った加工や測定の
ノウハウをもとに、
お客様のニーズに合った
ソリューションを提供します。

当社は、ツールプリセットを国産化し、
初めて世に送り出したパイオニアです。
簡易型から最新式カメラ搭載の全自動計測システムまで、
幅広い商品を取り揃えています。

レンズ加工機の発売開始は1970年。国内有数の歴史があります。
デジタルカメラの爆発的な普及に伴って、業容の拡大を図ってきました。

荒摺りから心取りまで、レンズ加工の全工程を
ラインナップする国内唯一のレンズ加工機メーカーとして、
すべての大手カメラメーカーの国内外工場に納入しています。



Craftsmanship

匠の技

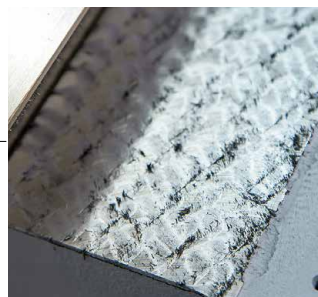


キサゲ

鈍角な刃先をもつ
キサゲという工具を用い、
金属表面を少しずつ削って
平坦度を高め、

表面に微細な凹凸をつけて摺動面の摩擦抵抗を減らす
手作業のことをキサゲ作業といいます。

熟練した職人だけに許される匠の技で、
レンズ加工機の組合せ面や摺動面の
仕上げに活用し、経年変化の少ない高精度な
面を実現しています。



レンズ加工機

極小径から大径まで！荒摺り・研磨・心取りなど
レンズ加工の全工程をラインアップする
国内唯一のレンズ加工機メーカーです。



大径複合加工機



複合研削盤



大径カーブジェネレータ



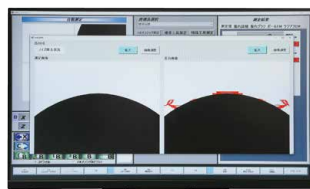
大径心取機

測定機器

ツールプリセッタのパイオニアとして、
他社の追随を許さぬ豊富なバリエーション！
全自動から簡易型まで、用途に合わせて最適な
機種をお選びいただけます。



全自動計測システム



AI技術



ものづくり支援ソフトウェア



画像処理タイプ

攪拌脱泡機

レンズ加工機で培ったノウハウを集結して
開発した最新鋭機！
この1台で攪拌と脱泡の二役を実現します。



真空タイプ



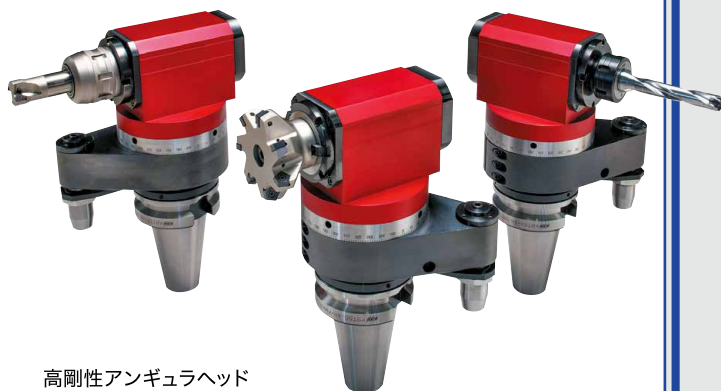
少量タイプ



大容量タイプ

ツーリングシステム

初の自社商品として工作機械用ツーリングを
製造販売して以来半世紀。
合理化・省力化と生産性向上を力強く
サポートします！



高剛性アンギュラヘッド



NC旋盤用ミーリングホルダ

沿革

History

- 1950 (昭和25年) 現在の弊社所在地に会社創立(資本金200万円)。
航空機、船舶、自動車用部品および治具、工具の製造を開始。
- 1958 (昭和33年) 自社ブランド製品となる工作機械用ツーリング(保持工具)の製造販売を開始。
資本金を2,400万円に増資。
- 1966 (昭和41年) NC機用ツーリングを開発、製造販売を開始。
- 1967 (昭和42年) ツールプリセッタを開発、製造販売を開始(国内初)。
レンズ研削盤(NCG)の製造販売を開始。
- 1970 (昭和45年) 資本金を3,400万円に増資。
レンズ用高速砂かけ機、高速研磨機を開発、製造販売を開始。
- 1971 (昭和46年) セントライザー、特許庁長官奨励賞を受賞。
- 1973 (昭和48年) 資本金を5,100万円に増資。
- 1980 (昭和55年) 高精度小径コレットチャックを開発、製造販売を開始。
NC型自動球面研削盤の製造販売を開始。
- 1984 (昭和59年) 資本金を9,996万円に増資。
- 1986 (昭和61年) 旋盤用回転体ツールを開発。
- 1991 (平成 3年) SPチャック、紙管チャック、ダイヤフラムチャックを開発、製造販売を開始。
- 1992 (平成 4年) オートクランパ(NW-50)を開発、製造販売を開始。
- 1997 (平成 9年) 縦型小径レンズ球面研削盤(GV1)を開発、製造販売を開始。
- 1998 (平成10年) 大径レンズ球面研削盤(GNV4)を開発、製造販売を開始。
株式会社スギノマシンのグループ会社となる。
- 2001 (平成13年) 資本金3億円に増資。
- 2003 (平成15年) CCDプリセッタ(IS)を開発、製造販売を開始。
- 2004 (平成16年) 非球面研削盤(ANH)を開発、製造販売を開始。
- 2005 (平成17年) 心取機(CNV)を開発、製造販売を開始。
- 2006 (平成18年) 機械新工場落成。
- 2012 (平成24年) 攪拌脱泡機(ハイマージャ)を開発、製造販売を開始。
- 2014 (平成26年) 全自動ツールプリセッタ(HP)を開発、製造販売を開始。
- 2015 (平成27年) 名古屋市西区菊井に名古屋営業所を開設。
球面平面研削盤(MZ)を開発、製造販売を開始。
- 2017 (平成29年) 全自動ツールプリセッタ(HP)工具着脱システムを開発、製造販売を開始。
- 2020 (令和 2年) 大容量攪拌脱泡機(HM-20000W)を開発、製造販売を開始。
- 2021 (令和 3年) 大径複合加工機(MNV4)を開発、製造販売を開始。
- 2024 (令和 6年) 複合研削盤(MNV2-Z80)を開発、製造販売を開始。





共立精機株式会社

KYORITSU SEIKI CORPORATION

